

歴史的講義ノートの公開

1876 札幌農学校

1907 東北帝国大学農科大学

1918 北海道帝国大学

1947 北海道大学

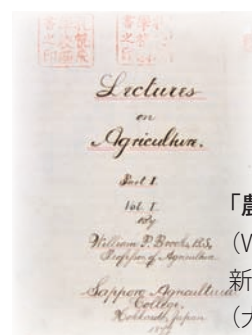
2006 オープンコースウェアの公開

2008 歴史的講義ノートの公開

<http://ocw.hokudai.ac.jp/>



北海道大学の起源は、日本最初の近代的大学として、1876年に、北のフロンティア北海道に設立された札幌農学校に遡ります。爾来、帝国大学を経て新制大学に至る長い歴史のなかで、本学は、「フロンティア精神」、「国際性の涵養」、「全人教育」および「実学の重視」という教育研究に関わる基本理念を培ってきました。札幌農学校の定員は1年生から4年生まで合わせて50人で、開校当時、クラークほか、4名の外国人教師がおり、外国人教師による講義は全て英語で行われていました。生徒は教師の口述を筆記し、それをノートに浄書し、さらに、そのノートを教師が点検して誤りを修正するという形で授業は進められていました。



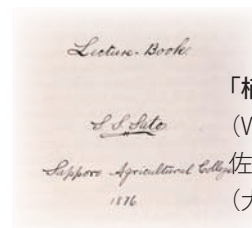
「農学」

(W. P. Brooks 教授)

新渡戸 稲造 著

(大学文書館所蔵)

このたび北海道大学オープンコースウェアは、大学文書館と共同で、大学文書館が所蔵しております当時の講義ノートの一部をデジタル化し、WEB上で公開することといたしました。我が国の高等教育の源泉を知る上で貴重な資料です。どうぞ、ご覧ください。



「植物生理学」

(W. S. Clark 教授)

佐藤 昌介 著

(大学文書館所蔵)

お問い合わせ先

北海道大学オープンコースウェア (<http://ocw.hokudai.ac.jp/>)

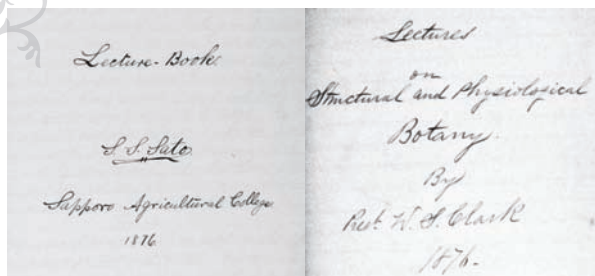
〒060-0811 札幌市北区北11条西5丁目
北海道大学情報基盤センター南館内

E-mail
Tel / Fax

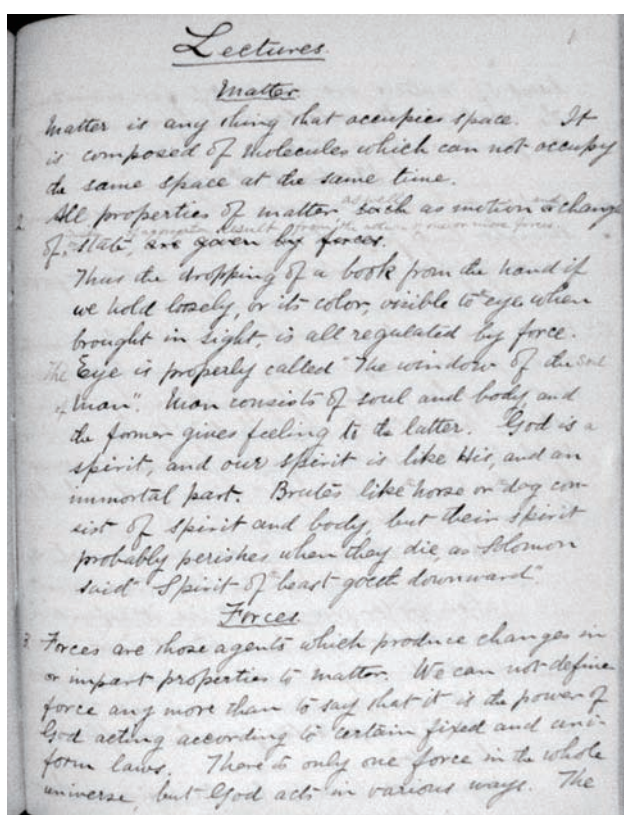
contact@ocw.hokudai.ac.jp
011-706-3555

「植物生理学」(1876) (W. S. Clark 教授)

佐藤 昌介 著 (大学文書館所蔵)



クラークによる講義「植物生理学」(原題: Structural and Physiological Botany) の佐藤昌介(後の北海道帝国大学初代総長)による講義ノートです。クラークが札幌農学校に赴任していた期間は1876年8月から77年3月までの8ヶ月間であり、クラークの講義を直接受けたのは第1期生のみでした。クラークによる講義の講義ノートはこの他に数点存在します。



Lectures

Matter

1. Matter is any thing that occupies space. It is composed of molecules which can not occupy the same space at the same time.
2. All properties of matter as well as motion and change of condition or state of aggregation, result from the action of one or more forces.

Thus the dropping of a book from the hand if we hold loosely, or its color, visible to the eye when brought in sight, is all regulated by force. The eye is properly called "the window of the soul of man". Man consists of soul and body and the former gives feeling to the latter. God is a spirit, and our spirit is like His, and an immortal part. Brutes like horse or dog consist of spirit and body, but their spirit probably perishes when they die as Solomon said "Spirit of the beast goeth downward."

⋮

資料原本の写真の画像と、文字部分をテキスト化した資料*を、順次公開いたします。当時の学問の状況も知ることができます。講義等の素材としてだけでなく、当時から現在へと続く「知の系譜」をどうぞお楽しみください。

*テキスト化は、北海道大学オープンコースウェアが行ったものです。誤記等、お気づきの点ございましたら、ご連絡ください。



ウィリアム・スミス・クラーク
(William Smith Clark, 1826-1886)

札幌農学校初代教頭。1848年に米国アマースト大学卒業。1852年にドイツのゲッティンゲン大学で博士号を取得。米国マサチューセッツ農科大学学長のとき、日本政府開拓使からの招聘に応じた。校長の顧問として、農学校創立に関する一切が委任されていたと考えられ、農学校の基本的枠組はクラークによって形成された。

佐藤昌介 (さとう しょうすけ, 1856-1939)

札幌農学校1期生。1886年にジョーンズ・ホプキンス大学で博士号の学位を受ける。1894年に札幌農学校校長となり、その後、東北帝国大学農科大学長、北海道帝国大学総長を歴任し、明治・大正・昭和と建学精神を守り抜いた。36年間にわたり北大の責任者として君臨。幾多の困難、危機を強力なリーダーシップで切り抜け、北大を総合大学に育てたことから、北大の父と呼ばれる。



(北方資料室所蔵)